

令和7年度 第4回「GX実現に向けた訓練カリキュラム開発分科会」報告

1 日時 令和7年10月6日（月）10:00～12:00

2 オンラインWEB会議

3 分科会委員

（座長）味木 茂隆 （株）環境経営コンサルティング研究所
松永 和彦 神奈川県立産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会
宮沢 浩之 （公財）神奈川産業振興センター
岩根 一樹 （有）ファクトリーゼロ
人材育成支援センター（事務局）
酒井 博之 人材育成支援センター 職業訓練推進員

＊分科会委員の出欠

全員出席

4 内容

ア 研修プログラムについて

前回からの修正箇所と、新たに追加した項目について、確認及び意見交換を行った。主な内容は以下のとおり。

【研修1日目】

1－8「GXとは⑤」

- ・家庭部門と業務部門を分けて表記した。

1－9－1「県等の施策を知る①」 1－9－3「県等の施策を知る②」

- ・タイトルのみ掲載。内容を整えて次回分科会で説明を行う。

1－9－2「県等の施策を知る③」

- ・カーボンニュートラルの取り組み事例（小林精密工業、従業員25名、金属加工業）を掲載。オンラインで上記企業にヒアリングした内容をまとめたもの。1年間で12KW・500万円削減を実現しており、活動のきっかけや実現にむけた手法等を紹介している。大変参考になると思われるため、試行講座に招いて自社の取り組みを話してもらう方向で調整する。
- ・どれくらいの投資額だったか等、試行講座で直接話を聞けるとインパクトがある。

1－10「施設見学（西キャンパス ZEB）」

- ・タイトルのみ掲載。内容を整えて次回分科会で説明を行う。また施設見学用の資料は松永委員の協力のもと別途作成済。併せて次回確認してもらう。

2－4－1「エネルギーの基礎知識①」

- ・その他の区分として、次世代の有望なエネルギー資源（水素、メタン、核融合等）を追加した。

2-4-1 「エネルギーの基礎知識②」「エネルギーの基礎知識③」

- ・構成順の入れ替えをして、両頁の中でバランスをとり、内容を見やすくした。

2-5 「設備別省エネの視点①」

- ・省エネ効果 1 ランプ当り費用 の赤文字部分は、「年4千円」「年2千円」の金額表示のみとしたほうがわかりやすい（「68W」「34W」は削除）

2-5 「設備別省エネの視点②～⑤」

- ・文字説明を生かしつつ、図やイラスト等を加える方向で調整する。
- ・給排水衛生設備は、循環利用のほか、用途や効果の概要を紹介する。

2-6 「省エネチェックリスト」

- ・受講する皆さんに記入してもらう。
- ・記入のタイミングは早めの方が良い（2-4-1 「エネルギーの基礎知識」の前に記入）。
- ・省エネによる削減額と同等の利益を、売上で確保するなら、売上高いくらに相当するか。表やグラフでまとめたのがP30に掲載した資料。省エネによるメリットが一目でわかりやすく、関係者のハートに刺さると思う。

その他、

投資額が少なくともコスト改善はできる。以下の4段階に分けて、取り組みやすいところから始められるような提案資料も検討する。

- 1、投資しなくても出来る改善（運用改善）
- 2、少額の投資で出来る改善
- 3、一定の投資は必要だが、助成金等の活用で取り組み可能な改善。
- 4、投資額が高く現実的でないかもしれないが、高額な投資により実施できる改善

イ．試行講座のチラシについて

- ・表紙のショルダー部分「見えない利益を ～ 具体策をお伝えします」の表現を再考する。利益に直結する実践的なノウハウを学べる、明日から実践できるコスト改善、といった方向性が良いと思う。
- ・表紙についても、試行講座であることが確実に伝わるよう、表現を工夫する。
- ・カーボンニュートラル実践事例の発表を行い、実践者のナマの声が聞けることを伝えてほしい。→裏面のカリキュラム欄の中で、事例の発表がある旨を入れる。事例発表の日程・時間を明確にして、発表者様には改めて伝える。
- ・チラシの修正案を次回分科会で提出する。

ウ 次回（第5回）について

日時 10月21日(火)15:00～17:00

会場 産業技術短期大学校西キャンパス

以上